

# ふくしの ひろば

鹿児島

ふれあいネットワーク

<http://www.kaken-shakyo.jp/>

第 238 号

令和4年1月1日発行



地域福祉推進大会 記念講演の様子



地域福祉推進大会 開会



県知事 主催者あいさつ

会長年頭あいさつ .....	2
あなたのまちのアクティブシニア かのやおもちや病院(鹿屋市) .....	2
ニュースポーツ用具貸し出しのご案内 .....	3
地域福祉推進大会開催報告 .....	4
生活福祉資金貸付制度のご案内 .....	5
シニアボランティア講座を開催して .....	6
ボランティアTシャツ&ポロシャツご購入の お礼と寄付のご報告 .....	7

「福祉の職場就職面談会」のご案内 .....	8
第24回介護支援専門員実務研修受講試験の結果 .....	8
介護ロボット常設展示のご紹介 .....	9
介護実習・普及センター実施事業のご紹介 .....	10
楽しく学べる介護講座(1月~2月)のご案内 .....	10
令和3年度共同募金運動報告について .....	11
福祉人材無料職業紹介所のご案内 .....	12



# 新春を迎えて



社会福祉法人  
鹿児島県社会福祉協議会

会長 布袋嘉之



明けましておめでとございます。皆様におかれましては、すこやかに令和4年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

地域経済や医療現場をはじめ、生活全体に甚大な影響を与えている新型コロナウイルス感染症については、ワクチン接種の進展や感染者の減少など、少しずつ明るい兆しが見えつつあるものの、発生から2年が経過した現在も収束の見通しが立たない状況が続いています。

これから、日常生活を取り戻すことは容易ではありませんが、引き続き感染防止対策の徹底と生活再建に向けた取り組みを両立させていくことが肝要であると考えています。

こうした中、社会福祉協議会においては、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少し、

生活に困窮する方に必要な生活費用等の貸付を行う、生活福祉資金特例貸付事業を実施し、これまでに本県で延べ三万件を超える申請に対応しているところです。

また、各地域においては、外出の自粛による高齢者等の孤立や地域のつながりの希薄化などの課題に対応するため、アイデアや工夫を凝らした様々な福祉実践活動が取り組まれています。

誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある地域共生社会を実現するため、関係機関・団体と連携・協働しながら地域福祉活動の推進や不足する福祉人材の養成・確保等、様々な課題に向け、積極的に取り組んでまいりたいと存じますので、皆様方のさらなるお力添えをお願いいたします。

新しい年が、皆様にとつて、より良き年であることを祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。

## あなたのまちのアクティブシニア

### 「かのやおもちゃ病院」(鹿屋市)

「かのやおもちゃ病院」は子どもたちの大切な宝物である「おもちゃ」の治療(修理)活動を通じて、子どもたちに「もの」の大切さを伝えるとともに、シニア世代のボランティア活動の場として社会参加を促し、生きがいづくり子どもたちとの世代間交流を目的として平成21年3月に設立され、現在、ドクター等14名で活動しています。

毎月第1土曜日の午前中、鹿屋市社会福祉協議会内で開院しており、当日に持参されたおもちゃをメインに治療をしています。



お母さん等に付き添われた子どもさんが、心配そうに壊れたおもちゃを持てきます。

受付では、ドクターが、おもちゃを手に取り「どこが壊れているの?」「これは、どつやって遊ぶの?」「子どもさんに問診し、カルテに書き込んでいきます。



<代表者> 安田 修  
<連絡先>  
鹿屋市社会福祉協議会内  
☎ 0994-44-2277

問診の済んだおもちゃは、ドクターたちが不明な点は互いに意見交換しながら、治療にあたります。

困った顔をして来院した子どもの顔が、治療が済み、にこりこりする瞬間に出会つてやりがいを感じます。

また、定例日以外にも、鹿屋市文化祭等の各種イベントでの開院や「夏休み親子工作教室」の開催など、色々な機会をこころえ積極的に活動しています。

設立から11年が経過した今では、鹿屋市民だけでなく、南大隅町や錦江町から持参される方もあり、年間100件を超える治療依頼に対応しています。

これからも、子どもたちの笑顔のため、技術の向上に努め、しゅしゅ・おおさき・垂水のおもちゃ病院とも連携しながら活動を継続してまいります。

このコーナーではすこやか長寿社会運動を实践され、いきいきと社会参加されている団体・個人を紹介しています。

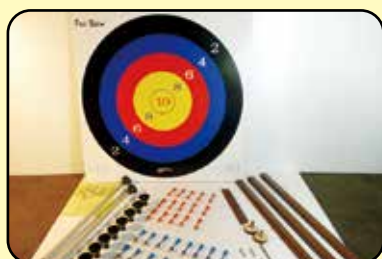
## ニュースポーツ用具の貸し出しを行っています

県社会福祉協議会長寿社会推進部では、シニアの皆さまがサロン等で活用できるニュースポーツ用具の貸し出しを行っています。

貸し出しの流れは、次のとおりです。

- ① ご希望の方は、あらかじめ電話等で貸出用具の内容をご連絡ください。
- ② 貸出可の確認後、「ニュースポーツ用具貸出申込書兼借受書」及び「ニュースポーツ用具の借受に係る誓約書」に必要事項を記入の上、本会宛ご提出ください。（様式は、県社協ホームページよりダウンロードできます。）  
**なお、貸出時に、本県に国の緊急事態宣言が発令されたり、鹿児島県における感染拡大の警戒基準がステージⅢに引き上げられた場合には、直ちに全ての貸出しを停止いたしますので御承知おき下さい。**
- ③ 「ニュースポーツ用具貸出申込書兼借受書」及び「ニュースポーツ用具の借受に係る誓約書」の受理後、引取日等確認のため本会から連絡いたします。
- ④ 貸出料金は無料、貸出期間は概ね2週間以内となっています。
- ⑤ 貸出用具は、以下のとおりです。（数量に限りがあります。）

フリーブロー（吹き矢）	アトラック（輪投げ）	グラウンド・ゴルフ	ディスクゲッター9
スポレック	クロリティー	ゲーゴルフゲーム	スカイクロスゲーム
フロッカー（カーリング）	ビーンポウリング	ティーボール	オーバルボール
パークゴルフ	ペタンク（屋内・屋外用）	ディスコン	ドッチビー
輪投げ	ボックスホッケー	シャッフルボード	ポッチャ



フリーブロー（吹き矢）



アトラック（輪投げ）



ディスクゲッター9



スポレック



スカイクロスゲーム



ペタンク（屋外用）



ディスコン



輪投げ



ポッチャ

※ 詳しくは、県社会福祉協議会ホームページをご覧ください。 →  
 （すこやか長寿社会運動）事業紹介）ニュースポーツ用具貸出



お問い合わせ先

鹿児島県社会福祉協議会 長寿社会推進部

TEL : 099-250-7441 FAX : 099-250-7443

# 令和3年度 鹿児島県地域福祉推進大会

大会テーマ：  
地域共生社会～我が事・丸ごとの地域づくり



令和3年度鹿児島県地域福祉推進大会が、10月26日(火)、川商ホール(鹿児島市民文化ホール)第1ホールにおいて県内の福祉保健医療関係者約600名の参加のもと盛大に開催されました。

大会においては、式典に続き、公益財団法人慈愛会いづろ今村病院院長の黒野明日嗣先生による記念講演が行われました。

## ◆表彰

永年にわたり県内の福祉の充実のためご尽力をいただいた個人・団体に対する表彰が行われました。受賞された皆さま方のご功績とご労苦に対し、深く敬意を表します。

### 《表彰内訳》

■鹿児島県知事表彰	65名、7団体
■鹿児島県社会福祉協議会会長表彰	312名、5団体
■鹿児島県共同募金会会長表彰	11名、19団体
■中央共同募金会会長表彰等伝達	表彰1団体、感謝盾2団体、感謝状6名・4団体



会場の様子



被表彰登壇者



被表彰登壇者

## ◆記念講演

公益財団法人慈愛会いづろ今村病院院長の黒野明日嗣先生から「いい最期とは～地域包括ケアシステムと地域共生社会」と題した記念講演が行われました。

コロナウィルス感染症拡大防止対策で例年の約半数の入場者の中でしたが、黒野先生は、「いい最期」というものものしいテーマに、多くの人が望むピンピンコロリ(「病気に苦しむことなく、元気に長生きし、最後は寝付かずにコロリと死ぬこと、または、そのように死のう」という標語。)できる生活改善の仕方を具体的なデータや医療現場での状況



記念講演



講師 黒野明日嗣氏

をもとに分かりやすくお話ししてくださいました。「医学の進歩などで病気が一時的に回復し、医療依存度の高い患者が増えた。」と説明され、「まず自分の健康に気を付けること。それが周りの人や地域の元気につながる。」と強調されました。

# 生活にお困りの方へ



お近くの「**社会福祉協議会**」や地域の「**民生委員・児童委員**」へ相談を。

## <生活福祉資金貸付制度>

この制度は、対象者の自立をめざすことを目的とする貸付で、子どもの学校進学のための必要経費、住家の補修費用、冠婚葬祭等のための臨時的経費、自立更生が見込まれる世帯への生活費などに対応するための**資金貸付制度**です。

### <緊急小口資金>

・緊急かつ一時的に生活費が必要な方。

※対象要件や貸付限度額がありますので、必ずお問い合わせください。

### <教育支援資金>

### <福祉資金>

### <総合支援資金>

### <不動産担保型生活資金>

詳しくは、HPで  
(QRコード↓)



お問い合わせ先

鹿児島県社会福祉協議会 生活支援部 TEL:099-214-3701  
〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1-7 県社会福祉センター内

## シニアボランティア講座を開催して

高齢化社会の中、シニア層のボランティア活動への参画が期待されていることから、シニア世代の方々のボランティア活動への関心と参加を促すことを目的に、9月28日(火)鹿児島県社会福祉センター別館で「シニアボランティア講座」を開催しました。

この講座は、ボランティアの意義や役割に関する講義、ボランティア団体の演奏発表や具体的な実践事例紹介など、幅広くボランティア活動を学ぶということで、県内各地から25人の参加がありました。

コロナ禍の今、ボランティア活動も様々な影響を受ける中で、すべての発表者が情熱をもって活動をされている姿に、参加者一同、勇気やパワーをもらわれたようでした。



### 県社協ボランティアセンター辻健一所長の講義

「ボランティアの意義と役割について」という演題で、各種調査結果をもとにボランティア活動への参加傾向や心得、内容や種類などを講義しました。また、SDGsについての解説やボランティア活動に生かす視点などについても紹介しました。



### 日置市ボランティア団体「ハーモニカ伊集院」 指導者 牧迫一幸氏 他5人による演奏発表

会員15人で月2回日置市中央公民館等で練習をしています。コロナ禍前は、多くの施設等で演奏活動をしていました。当日は、懐かしのメロディー4曲を披露しました。

### 鹿児島県おもちゃ病院連絡協議会 会長 米重忠好氏による実践事例紹介 I

県内15カ所あるおもちゃ病院の連絡協議会会長として、おもちゃ病院の現状や課題、また、自分が所属する鹿児島おもちゃ病院での治療の様子等を詳しく紹介しました。



### 始良市男性サロン「俺たっがサロン」 代表 奥村司氏による実践事例紹介 II

始良市では、退職後の地域への関わりや集いの場づくりとして、住民主体の男性サロンが開設されています。講座では、地元社協と連携して主体的に活動する様子を紹介しました。

### 森林(もり)の学校「一步会」 会長 児玉時和氏による実践事例紹介 III

コロナ禍において、いろいろなボランティア活動が制限されている中、注目されているのが植樹などの森づくり事業です。「森林の学校一步会」は、地域や森林組合からの要請を受け、植樹や伐採等を行っており、その活動の様子を紹介しました。



## 2021年度ボランティアTシャツ&ポロシャツ 御購入のお礼と寄付の御報告

～売上金の一部を活用した被災者支援の取組報告～

毎年、当センターが販売するボランティア活動啓発用Tシャツ・ポロシャツについて、日頃から多くの皆様に御愛用いただき感謝申し上げます。

今年も、皆様に御好評いただき、Tシャツとポロシャツ合計4,488着御購入いただきまして、今年度の販売を終了することができました。

同シャツの売上金については、当会の社会福祉事業はもとより頻発する自然災害による被災者支援にも活用しております。

今年度の被災者支援の取り組みとして、令和3年7月及び8月の大雨により被災された方の支援に役立ててもらうため、売上金の一部を以下のとおり寄付したので報告いたします。

今後も同シャツの充実に努めて参りますので、引き続きボランティア活動着や事務所スタッフユニフォーム等に御活用いただけると幸いです。

金額	寄付先	寄付内容
100,000円	鹿児島県共同募金会	令和3年大雨災害義援金
100,000円	中央共同募金会	「令和3年8月豪雨」に伴う 災害ボランティア・NPO活動サポート支援金



〈県共募贈呈の様子〉

令和3年度  
社会福祉施設  
総合損害補償

# しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険

検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の  
**事故・紛争円満解決のために!**

**プラン1 施設業務の補償** (賠償責任保険、動産総合保険等)

① 基本補償(賠償・見舞)

▶ 保険金額	基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)		
賠償事故	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円	
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円	
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円	
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円	
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円	
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円	
	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円	
	お見舞い等	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
		被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
		傷害見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

保険期間1年

▶ 年額保険料(掛金)		
定員	基本補償(A型)	
1~50名	35,000~61,460円	
51~100名	68,270~97,000円	
100名以降1名~10名増ごと	1,500円	

基本補償(A型) 保険料 + 【見舞費用加算】  
定員1名あたり  
入所: 1,300円  
通所: 1,390円

プラン2 施設利用者の補償

プラン3 施設職員の補償

プラン4 社会福祉法人役員等の補償

スケールメリットを活かした  
充実した補償と  
割安な保険料  
です。

● この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用慣行賠償責任保険、役員賠償責任保険、サイバー保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定運行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

● このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。

**団体契約者** 社会福祉法人 **全国社会福祉協議会**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL: 03(3349)5137  
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

**取扱代理店** 株式会社 **福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763  
受付時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

あなたの就職活動をお手伝いします!!お気軽にご参加ください!

令和  
3  
年度

# 「福祉の職場 就職面談会」のご案内

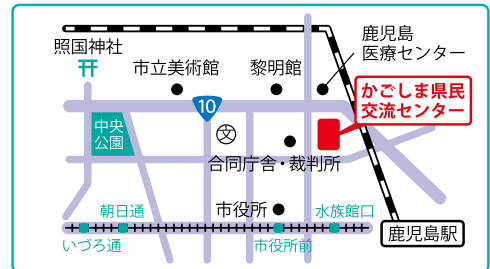


**日時** 令和4年 **2月11日** (金・建国記念の日)  
**10:00～16:00**

**場所** **かごしま県民交流センター**

(鹿児島市山下町14-50)

- ・介護職場シニア就職応援セミナー(4F研修室)
- ・就職面談会(2F大・中ホール)



○ **介護職場シニア就職応援セミナー** **10:00～12:00** (受付9:30～)

【対象】概ね55歳以上で、介護や介護の職場に興味・関心がある方(定員50名)  
【講師】社会福祉法人松恵会 特別養護老人ホーム松恵園 生活相談員 小原 努氏

○ **就職面談会** **13:00～16:00** (受付12:30～15:30)

(施設概要、仕事内容、採用条件等について、施設の人事担当者との個別面談会)  
(情報提供・資格取得等相談コーナーも同時開催)

○ **参加費** **無料** **事前申込必要** **履歴書不要**

未経験者OK! 無資格者OK!  
シニアの方も大歓迎!

○ **対象者** **福祉の職場への就職希望者**  
(一般の方(シニアの方も含む)及び大学・短大・専門学校生等)

※学生:令和4年3月卒業予定者  
新型コロナウイルス感染症の影響で解雇・雇い止めなどにより離職した方

○ **参加法人** **60法人(予定)** 参加法人の情報は、資料がまとまり次第県社協HPで公開する予定です。

○ **主催** **鹿児島県・社会福祉法人鹿児島県社会福祉協議会**



参加申込用QRコード



**お申込み方法**

チラシ裏面の参加申込書に必要事項をご記入の上、令和4年1月21日(金)までに持参または郵送、FAXでご提出ください。チラシがない場合はご連絡ください。また、右の参加申込用QRコードからも申し込みできます。

※荒天等のため開催できない場合もあります。直前に県社協ホームページ等で必ずご確認ください。

※ご来場の際は、マスクの着用をお願いします。また発熱や風邪の症状がある場合は、参加をお控えくださいますようお願いいたします。

※障害のある方で配慮が必要な場合は、令和4年1月21日(金)までに下記(お問い合わせ先)へご連絡ください。

○お問い合わせ先 鹿児島県社会福祉協議会 福祉人材・研修センター TEL099-258-7888 Fax099-250-9363

令和  
3年度  
(第24回)

## 介護支援専門員実務研修受講試験結果について

介護支援専門員実務研修受講試験が、今年度は、令和3年10月10日(日)に実施されました。試験結果の詳細については、下記のとおりです。

試験  
結果

受験者数 . . . . . **1091**人

合格者数 . . . . . **210**人

合格率 . . . . . **19.2**%

※合格者は、令和4年1月から3月に行われる実務研修を受講することにより、介護支援専門員として介護サービス計画作成等の実務に就くことができます。



# 介護ロボットを体験してみませんか

介護実習・普及センター  
介護ロボット常設展示の  
ご紹介

介護実習・普及センターでは、介護ロボットの常設展示をしています。移乗・移動・排泄・見守りコミュニケーション支援などの介護ロボット14種類を常設展示しており、実際に触れて体験できます。

1	HAL 	装着型のパワーアシスト機器。ベッドから車いす等への移乗支援や体位変換介助の支援を行い、介護者の腰への負担を軽減。	移乗支援	8	ラップオンエール2 	排泄物の処理に水を使用せず、熱圧着により自動で排泄物と臭いを密封し、介護者の負担を軽減。	排泄支援
2	フレアリー（装着型） 	動きを検知してモーターでアシスト力を調整し、介護作業における腰部への負担を軽減。フレーム構造のない、ベルト巻き上げ式。	移乗支援	9	排尿予測デバイス Dfree 	超音波センサーで膀胱の大きさを捉え排尿タイミングを知らせる排尿予測デバイス。排尿を予測し、トイレ誘導等を行えることで利用者の自立排泄と失禁減少をサポートし介護負担を軽減。	排泄支援
3	Hakoberude（装着型） 	特殊高反発ゴムと人工筋肉の働きにより動作を補助し、介護者の負担を軽減。	移乗支援	10	ネオスケア 	居室内に取り付けしたセンサーにより、危険につながる動作を正確に見つけて通知。万一、事故があった場合、画像で状況の把握ができる。事故の防止と業務負担を軽減。	見守り・コミュニケーション支援
4	マッスルスーツ スタンドアローン 	空気圧で動く人工筋肉の収縮でワイヤーを動かして動作を補助し、介護者の負担を軽減。	移乗支援	11	AI スリープ 	リアルタイムで「バイタル（心拍・呼吸）」及び「ベッド上での4つのステータス（離床・起き上がり・覚醒・睡眠）」を計測し、24時間の睡眠状態（深い・浅い・REM・覚醒）、ゆらぎ健康度の解析を行い通知することで、介護者の負担を軽減。	見守り・コミュニケーション支援
5	HUG T1 	要介護者の残存脚力を活用して車いすや便座等への移乗を支援し、介護者の負担を軽減。	移乗支援	12	レガーム介護センサー ベッドタイプ通信機能付き 	マットレス下にセンサーを設置し、利用者の生体反応をマイクロ波で読み取り、離床・寝返り・脈拍・呼吸状態を把握して無線通信でPC・スマホ・ナースコールに接続することで見守りや必要な介護を支援。	見守り・コミュニケーション支援
6	ロボットヘルパー SASUKE 	非装着型でシートに利用者に乗せてベッドから車いすやストレッチャーに移乗させ介護者の負担を軽減。	移乗支援	13	PALRO 	「日常会話の話し相手、レクリエーションの司会進行、健康体操のインストラクター」など介護施設における様々な場面でコミュニケーション機能を活用しながら利用者のQOL向上と介護者の負担を軽減。	見守り・コミュニケーション支援
7	ロボットアシスト ウォーカー RT2 	電動アシストによる歩行支援（パワーアシストや減速）や傾きのある道路での片流れ防止、音声による歩行支援。	移動支援	14	Chapit 	生活雑音が存在する環境でも人の音声を認識し、自然な会話をしているように話し、癒やしを与える他、家電コントロール機能やレクリエーション機能などで生活を支援。	見守り・コミュニケーション支援

お問い合わせ

鹿児島県介護実習・普及センター 【休館日：月曜日 ※祝日の場合は翌日、12/29～1/3】  
〒892-0816 鹿児島市山下町14-50 かごしま県民交流センター2階  
電話：099-221-6615 FAX：099-239-0384



## 介護実習・普及センター 実施事業のご紹介

### 介護ロボット体験・相談会in大島

大盛況!



介護現場の人手不足を解決するため開発された介護ロボットの理解・普及を目指す「大島地区介護ロボット体験・相談会」を、10月22日～23日の両日、奄美市社会福祉センターで開催しました。初日が20名、2日目は25名、喜界町や徳之島町からも参集いただき、鹿児島大学医学部保健学科助教吉満孝二先生の「介護ロボット導入の効果」等のお話を聴いたり、実際に、介護ロボットの操作を体験したりしました。参加者からは、「普段いかに自分が体に無理させているか実感できた」とか、「ロボットに手伝ってもらうことで、時間的な余裕も生まれる」などの声が聞かれました。【※9ページもご覧ください。】

## 楽しく学べる介護講座(1月～2月)のご案内

番号	講座名	日時	内容	受講料等
1	介護職スキルアップ研修 (介護機器〈介護ロボット〉等 利活用)	1月7日(金) 10:00～16:00	○介護機器(介護ロボット)の効果的利用 ○介護機器(介護ロボット)の操作体験	4,000円
2	介護職スキルアップ研修 (口腔ケア)	1月14日(金) 10:00～16:00	○口腔ケアの基礎知識と方法 ○拒否される方への対応・コミュニケーションのとり方 ○口腔ケア体操	4,000円
3	介護職スキルアップ研修 (体位変換・ポジショニングケア)	1月15日(土) 10:00～16:00	○褥瘡の基礎知識 ○座位・寝姿勢別体位変換, ポジショニング方法 ○車いすのシーティング方法	4,000円
4	介護職スキルアップ研修 (排泄ケア I)	2月9日(水) 10:00～16:00	○排泄・失禁についての基礎知識 ○スキンケア方法 ○麻痺・拘縮のある方のおむつ交換	4,000円

(会場は、すべて「かごしま県民交流センター」です。)

### お問い合わせ先

**鹿児島県介護実習・普及センター(福祉用具展示)** (運営: 社会福祉法人 鹿児島県社会福祉協議会)

〒892-0816 鹿児島市山下町14-50 かごしま県民交流センター2階

TEL 099-221-6615 FAX 099-239-0384

E-mail [kaigo-kakenshakyoku@po5.synapse.ne.jp](mailto:kaigo-kakenshakyoku@po5.synapse.ne.jp)

【利用時間: 9:00～17:00】

URL <http://www.kagoshima-pac.jp>

【休館日: 月曜日 ※祝日の場合は翌日、12/29～1/3】



※掲載の内容については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、中止または延期となる場合がありますので、ご了承ください。

※県民向け・専門職向け研修・講座や福祉用具専門相談員養成研修等、令和4年度当センター主催の研修・講座につきましては、本会ホームページ <http://www.kaken-shakyo.jp>内の「介護実習・普及センター研修・講座」ページに、3月下旬から順次掲載していきます。ご確認ください。



# じぶんの町を良くするしくみ 赤い羽根共同募金 皆様のご支援に感謝します!



あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

75回目となった令和3年度の共同募金運動は10月1日から実施されましたが、昨年度に引き続き、コロナ禍のなかでの実施となりました。募金活動実施にあたっては感染の状況を見ながら、感染対策を十分にとったうえで、ボランティアの皆様へたいへんご尽力いただき、県民の皆様からも温かい善意が寄せられておりますことに心から感謝を申し上げます。

長引くコロナ禍の活動自粛等により地域での福祉課題も多様化しており、人と人とのつながりを大切にしながら地域での福祉活動を支える共同募金の役割は一層重要なものとなっております。

今後も、赤い羽根共同募金へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



## NHK歳末たすけあいへのご協力ありがとうございました

毎年12月にNHKとの共催でNHK歳末たすけあいを実施しています。

皆様からの寄付で、県内の児童福祉施設や、グループホームで生活している障がい者の方々などへ品物をお贈りしており、去る12月20日に県社会福祉センターで贈呈式が行われ、NHK鹿児島放送局の竹添局長のご出席のもと県共同募金会の布袋会長から児童福祉施設等の代表者へ各施設が希望する品々の目録が手渡されました。

新型コロナの影響で思うように外出もできず施設のなかで限られた遊びしかできない子どもたちや、グループホームで生活しているの方々にとって、この時期に皆様からの寄付により届けられる温かい贈り物は何よりの楽しみとなっております。

今年も変わらぬ善意をお寄せいただき心より感謝申し上げます。



幼稚園児からの寄付

# 福祉人材無料職業紹介所 平日相談・夜間相談のご案内

●平日相談  
月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時  
(祝日・年末年始 12/29～1/3を除く)

●夜間相談  
原則毎月第1及び第3金曜日、午後5時～午後8時  
(受付時間：午後5時～午後7時)  
昼間の利用が困難な方々のために、「福祉人材無料職業紹介所(夜間窓口)」を開設しています。  
午後5時までに来所できない方は、是非ご利用ください。

●令和4年3月までの夜間相談窓口開設日

年月	開設日
令和4年	1月 7日・21日
	2月 4日・18日
	3月 4日・18日

お問い合わせ先  
社会福祉法人鹿児島県社会福祉協議会  
福祉人材・研修センター(福祉人材無料職業紹介所)  
〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1番7号  
鹿児島県社会福祉センター6階  
電話 099-258-7888 FAX 099-250-9363



日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

## ボランティア活動保険

令和3年度 全国200万人加入!!

保険金額・年間保険料(1名あたり)

保険金の種類	プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額	6,500円	
	手術 入院中の手術	65,000円	
	保険金 外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円	
賠償責任の補償	地震・噴火・津波による死傷	×	○
	賠償責任保険金(対人・対物共通)	5億円(限度額)	
年間保険料		350円	500円

団体割引20%適用済/過去の損害率による割増引適用

＜基本プランに加入される方へ＞  
基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。  
◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。  
※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

<https://www.fukushihoken.co.jp>  
ふくしの保険 検索

商品パンフレットはコチラ  
(ふくしの保険ホームページ)



ボランティア行幸用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険) 送迎サービス補償 (傷害保険) 福祉サービス総合補償 (傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会  
〈引受幹事〉損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL: 03(3349)5137  
受付時間：平日の9:00～17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763  
受付時間：平日の9:30～17:30(12/29～1/3を除きます。)  
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

広報紙「ふくしのひろば」は本会のホームページでもご覧になれます。また、お問い合わせは総務部にて受け付けております。  
TEL 099(257)3855 FAX 099(251)6779  
E-mail soumu4@kaken-shakyo.jp  
★この広報紙は、共同募金の助成を受けて発行されています。

(SJJ20-12302 2020.12.28作成)